

## 2019年度 抗酸菌の遺伝生態研究会 特別研究集会

(日本医療研究開発機構 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業  
「非結核性抗酸菌症の発生動向把握及び診断・治療法の開発に向けた研究」、協力：国際  
共同研究加速基金)

本研究集会では、参加する研究者の抗酸菌に関連する最新の知見について紹介して、情報共有や、新たな共同研究のための足場となる機会を提供する。これとともに、数多くのプロジェクトを実施して研究報告を行ってきた、抗酸菌研究第一人者のお一人で、第93回日本細菌学会総会にて特別講演(2月20日(木)、15:40-16:40、'Genetic tools for making better drugs and vaccines')される Prof. Eric Rubin 先生から、翌日21日(金)の午後にご助言、ご意見を賜り、世界とのネットワーキングを図ることを企図しています。



**Irene Heinz Given Professor**  
**Eric Rubin** (Harvard T.H. Chan  
School of Public Health  
Department of Immunology and  
Infectious Diseases, Editor-in-  
Chief of the New England  
Journal of Medicine)

日時：2月21日(金曜日) 14:00-17:00

場所：ウイנקあいち 9F、907号室

参加：当日参加可、無料

発表希望者：問い合わせ先まで2月1日迄に発表者名と、講演タイトルをお送りください。

研究発表(最大9人まで)：1人 講演15分間、質疑5分間(英語)

総合自由討論：講演・質疑後に時間が残れば17:00まで

その他：要望・希望があれば、下記まで問い合わせください。

問い合わせ先

丸山史人(広島大学) fumito@hiroshima-u.ac.jp

港雄介(藤田医科大学) yusuke.minato@fujita-hu.ac.jp